

35 光のイベント～OKINAREYO～

【き】一人の青年の言葉がきっかけ

平成14年11月、ある会合での一青年の「衰退していく自分たちのまちを、夢や活気のあるまちにできないだろうか」という一言に賛同した有志5人が加わり、会を結成しました。

【概】光をテーマにイベント

最初は、まちの方々に協力をいただき、平成14年12月8日、山東町矢名瀬地区を走る国道427号線沿いを電飾のイルミネーションで飾りました。



光のイルミネーション

このイルミネーションづくりをまちのみんなで毎年実施しているほか、12月23日には子供たちが中心の交流イベント「一日早いクリスマス」、1月17日には阪神淡路大震災の犠牲者の冥福を祈る「千灯供養」と関連イベントを毎年開催しています。

【成】地域に「まちづくり」への関心が

私たちが声をあげて活動を始めたことを通じて、まちの人たちが「自分たちにも何かできるのでは」とまちづくりに興味を持ち始めてくれたのは、大きな成果です。これをきっかけに、地域に有志によるよさこいのチームもできました。

また、山東町には、震災時、西宮市にどの自治体よりも早く支援物資を届けたという実績があります。千灯供養イベントで、まちの人たちにそういう教訓や心を伝え、残すことができているのもまた、大事な成果です。

【夢】これからも活動を続けていきたい

このプロジェクトは、はじめは矢名瀬地区の人たちが中心でした。それが、今では山東町全域の取り組みへと広がりつつあります。これからも地域のより多くの人たちにかかわってもらえるイベントに発展させていきたいと考えています。

また、震災供養イベントを充実させ、阪神大震災の教訓を伝え、生かすことで、住民の間の災害ネットワークの充実を図っていきたいと考えています。

山東新生まちづくりの会

代表者氏名:藤尾泰彦
活動地域:朝来市山東町内
事務所等:朝来市山東町滝田162-2
(株)オカダヤ内
電話番号:079-670-7030
FAX番号:079-676-4244
ホームページ:
<http://www5.nkansai.ne.jp/users/okinareyo/>
E-mail:okinareyo@nkansai.net

とも
に取
り
組
んだ
団
体
等

町内全域の町民の皆さん、各企業、商工会、各種団体、町、各学校など、多くの方の協力をいただきました。町おこしの一端として、呼びかけに応じて賛同し、参画・協働していただきました。

活用した支援

寄付(町内住民)、第15回兵庫のまつりーふれあいの祭典県民提案事業補助金(兵庫県)



親しみのある方言を使い、名づけて「OKINAREYO」

みんなでこの事業のプロジェクトをなんと名付けようか話し合っていたとき、会話の流れでメンバーの一人が「母親が毎朝、「はよ、起きなれよ」ってうるさいんや」と口に、「それや!」となりました。

「おきなれよ」とは山東町に古くから残る方言で、「(そろそろ退屈な状況から目を覚まして)起きましょう」「(子どもたちに)大きくなれよ」「(地域の良い伝統を残し)置きましょう」という3つの意味があり、それぞれイルミネーション、1日早いクリスマス、千灯供養イベントにあてはまる言葉です。



人のつながりをいかした資金集め

最初、会が立ち上がったのが11月で、イルミネーションの点灯は当時のルミナリエの点灯式より1日早い12月8日。時間がなかったので、会のメンバーで200万円を出し、寄付は後からもらおう、赤字になったら自分たちで負担しようと決めました。

その後、地域内の個人や企業から寄付を募りました。メンバーの中に商売をしている者がいたので、企業からの寄付金はそのネットワークを生かして集めました。

普段の付き合いがないと、企業からお金を集めるのはなかなか難しいと思います。もし企業から協賛金を募りたいと考えているのであれば、いきなりお願いに行くのではなく、まずネットワークがある人を探すとよいと思います。

求ム!

老若男女問わず、本事業に前向きに取り組む、共に、町おこし活動に賛同していただける方を募集しています。

詳しくは、ホームページをご覧ください。よろしくお祈りします。



千灯供養

読者の皆さんへのメッセージ

私たちの活動は、最初は矢名瀬地区の人たち中心で、プロジェクト名もyanase-okinareyoでした。活動が山東町全域に広がってきたことで、santo-okinareyoへと発展しました。これからもまちのみんなで力を合わせ、住みよいまちづくりをめざしていききたいと思ひます。